

## 近隣の自然の変化に目を向ける No. 59

### 「中秋の花々: Mid-autumn flowers」

2021年9月29日

**中秋とは？** 大陰(旧)暦では7月～9月を秋としていたので、真ん中の8/15を中秋と呼んでいた。昔の日本では、その夜の満月を「十五夜・中秋の月」として愛で、団子を供え、和歌を詠んで祝っていた。旧暦は月の満ち欠けの1周期(29.5日)を1ヶ月としていたが、太陽暦に従っている今とは必然的に暦(月日の表示)が変わり、旧暦の8/15は9月の半ばから下旬になり、満月の日も毎年変わることになった。今年**の中秋は8年ぶりに満月となり、9/21の夜半に真南の空に満月が見えた！地上ではススキが穂を付け、槇の木は実を団子の形に変えて迎えているようであった。**

**\*おさらい：**太陽暦：地球が太陽の周りを回る(公転)周期(1年365日)を基準にした暦、  
(大)陰暦：月が地球の周りを回る(公転)周期(1月29.5日)を基準にした暦。

**秋分の日**を迎えると、暑かった夏からやっと涼しい秋となり、身体も心も落ち着く日々になってほしい、と誰もが期待する。しかし今年(9/23)は、30℃を超える夏日であった。それでも朝夕の気温はやや低く、秋の花々が目立つようになっていた。その代表が**彼岸花**である。ところが今年**の彼岸花**は、9/23には大部分が満開時を過ぎ、萎れ始めていた。日頃から花の開花に関心を持っている人は気づいていると思うが、今年**はどの花も2、3週間開花が早い**(先号紹介したキンモクセイの花が香りを放つのは例年10月に入ってからだ)。

**芦花公園のコスモス**は例年通り花の数が増えつつあるが、**黄花コスモス**だけは9月の初めからあちこちで咲き誇っていた(珍しい光景だ)。

**3段目の写真は西洋由来の花々**。最近一般家庭の庭によく植えられている。その中でも**\*\*マツリ(\*\*茉莉)**と言う名の花によく出遭う。例えば、今号の**ルリ茉莉、ハリ茉莉**、先号の**茉莉花=ジャスミン**なので、どれも芳香な花なのかも知れない(未調査)。

**4段目**は、公園内に今咲いている花々。**マグノリア ジニー**はモクレンの仲間だが、秋に咲くとは驚きだ。**ヤブラン**は丈夫で長い間咲き続ける秋の花だ。**ジンジャ(ハナシャクシャ、花縮砂)**は花びらが心地良い芳香を放つユニークな花だ。ショウガ科の植物だが、食用の生姜(ginger)の花ではない。